

(2) 施策の方針

第6章 活力ある暮らしやすいまち

分野(2) 観光

施策の方針② 安全で快適な観光空間の整備

<目標とすべきまちの姿>

市内には、観光案内板や快適な公衆トイレなどが十分に整備されています。また、観光案内施設の多言語化などにより海外から訪れる観光客も快適に観光を行うことができます。

歩行者の安全性を確保するための整備が進められるとともに、ハイキングコースの整備など観光客が歩いて観光をしたくなるような空間が提供されています。

また、自然災害が発生した際の備えも整えられ、観光客が安心して観光できるまちとなっています。

1 事業評価結果一覧表

市民活動部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
市民-12	観光案内所運営事業	7,519	9,048	0.2	a	B
市民-13	観光施設整備事業	30,570	42,037	1.5	b	B
市民-14	海水浴場運営事業	48,032	59,499	1.5	b	A

2 平成26年度末の目標

市民活動部

引き続きクラウドファンディングを活用した寄附金募集を行い、収入確保を図る。
外国人観光客の増加が見込まれる中、老朽化が進んでいる公衆トイレについて、早期に改修を実施していく。
海水浴場におけるマナーに反する迷惑行為を防止するための条例制定と海の家の営業ルールにより、海水浴場の風紀を改善する。

3 平成26年度の取組の評価

市民活動部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

100万円を目標額としてクラウドファンディングによる寄附金募集を行ったが、募集額は67万円に止まった。
浄光明寺公衆トイレ改修工事を行い、公衆トイレのユニバーサルデザイン化を進めた。
条例制定による海水浴場の風紀改善を図り一定の成果を上げたが、過度な飲酒による迷惑行為など、課題も残る結果となった。

4 今後の方向性

市民活動部

引き続き和式便器のみの旧式トイレを中心に、公衆トイレのユニバーサルデザイン化を進め、観光客の満足度向上を目指す。
条例強化などにより、海水浴場の一層の風紀改善を目指す。

5 平成27年度末の目標

市民活動部

妙本寺公衆トイレ改修工事設計を行い、具体的な改修計画を策定する。
マナー条例の周知徹底を図ることにより、海水浴場の風紀改善を実現する。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・課題としていた昼休みの案内所職員を増員した、観光客に対する対応を充実させた等、観光案内所のサービスを図った。
- ・安全性の確保の為に観光施設の整備・改修・修繕を行っている。
- ・無償で提供するトイレ協力店として協力を求める等、把握した課題を解決するための事業を的確に実施している。
- ・クラウドファンディングの活用等、目的を達成するための、予算の確保に努めている。
- ・実施した事業の結果に対して、更なる課題の把握に努めている。

2 課題・提言

- ・観光案内所については、年2000万人以上訪れる観光地の観光案内所としては規模が小さすぎるように感じる。観光の入口＝顔とも言える場所なので、もっと力を入れても良いのではと思う。
- ・観光施設の整備・改修・修繕は、安全で快適な観光地を目指すには、観光客・市民双方にとって必要不可欠な重要なことであると思う。一方で鎌倉は古都であることを踏まえ、整備により、その「らしさ」が損なわれないよう、十分に注意を払って進めてもらいたい。
- ・結果として26年度は海水浴の風紀が悪化してしまったように思うが、今年度の市のルール設定でどこまで改善するのか、見守りたい。
- ・ハイキングコースの管理は市民団体と協働してはどうか。
- ・鎌倉市には複数の海水浴場があるので、家族、若者等、利用者を特定し、それに応じた管理を行ってはどうか。
- ・砂浜での飲酒を禁止しても、住宅地等で飲酒する人が出てくるため、飲酒が出来る海水浴場を設置し、有料化することにより管理コストを捻出する等、明確に分離してはどうか(ハワイ州ではアウトドアでの飲酒を前面禁止している)。